

29. 或積分方程式・固有値問題

河口商次 (北大)

吾同家が見レハ"言成"ツマラナイコレカモ知レナイカ"幾何学・見方
 カ起ツタ問題ヲ"幾"支南大ヲ採シラモ見当ラナイノテ"吾同家"目カ
 カヲオ借リニ[↑]ト思"ツテ"コノ紙トシオ借リスル。

問題. Hilbert "オ"三種積分方程式:

$$\varphi(x) = A(x)\varphi(x) + \int_a^b K(x,y)\varphi(y)dy$$

= 関スルモノテ"此方程式"ヲ linear operator ト見做シ

$$\varphi(x) = L\varphi(x)$$

ト考ヘル。ソノトキ $\varphi(x)$ ト $f(x)$ トカ" 常数ノヒシテ"異ルコトガアルカ。則

$$(1) \quad \frac{1}{\lambda}\varphi(x) = A(x)\varphi(x) + \int_a^b K(x,y)\varphi(y)dy$$

ノ固有値問題ヲ"アル。特 = $A(x)$ カ" 常数ヲ"アル"コノ問題ノ
 Fredholm 積分方程式ノ固有値問題トナル。又 $\frac{1}{\lambda}$ カ" 常数ヲ"ナク
 $A(x) = \text{常数}$ カ" 掛ツタモノヲ"アルハ"

$$A(x)\varphi(x) + \lambda \int_a^b K(x,y)\varphi(y)dy$$

トナツテ之ハ Hilbert カ" 既 = 言論 = "ヲナル。然シ(1) = 関シラハ
 誰モヤツテ平ナイ様ナノテ" 今迄 得タ結果ヲ 述べ供セテ 未解決
 部分ヲ提示ニヨウ。先ツ" 今迄 得タ結果ハ

(1) 一般 = 固有値即チ $D\left(\frac{\lambda K(x,y)}{\lambda A(x) - 1}\right) = 0$ ノ 根カ" 必ス" 存
 在スルトハ 限ラナイ。 $A(x) \equiv \text{const.}$ ノトキ" サヘ" サウヲ" アルカラ

(2) (1)が恒等的零でない連続解シモツ為ニハ λ が固有値デアルコトが必要十分デアル。

証明スルニハ (1)ヲ変形スルハ $\frac{\lambda K(x,y)}{\lambda A(x)-1}$ ヲ核ニスル同次方程式ニ付テカラソレニ Fredholm 理論言命ヲ具備適用スルバヨイ。

(3) λ が固有値デ $D\left[\frac{\lambda K(x,y)}{\lambda A(x)-1}\right]$ ノ階数ガ有限ナルハ (1)ノ解ハ各個ノ函数 $f_j(x)$ デ

$$f(x) = \sum_{j=1}^n C_j f_j(x)$$

ト表ハサレル。

(4) 固有値 $\lambda, \bar{\lambda}, K(x,y), \bar{K}(x,y) = K(y,x)$ ニ付テ同ニテアル。階数等シイ

(5) λ ヲ $K(x,y)$ ノ一ツノ固有値, μ ヲ $\bar{K}(x,y)$ ノ一ツノ固有値スルバソレラニ対応スル固有函数 $f(x), \bar{f}(x)$ ノ間ニ

$$\int_a^b f(x) \bar{f}(x) dx = 0$$

即チ直交関係ガアル。

(証明)

$$\frac{1}{\lambda} f(x) = A(x) f(x) + \int_a^b K(x,y) f(y) dy$$

$$\frac{1}{\mu} \bar{f}(x) = A(x) \bar{f}(x) + \int_a^b \bar{K}(x,y) \bar{f}(y) dy$$

ホ一式ニ $\bar{f}(x)$ ヲ乗シテ二式ニ $f(x)$ ヲ乗シテ相ニ減シテ積分スルハ

$$\left(\frac{1}{\lambda} - \frac{1}{\mu}\right) \int_a^b f(x) \bar{f}(x) dx = 0$$

$\lambda \neq \mu$ デアルカラ証明ヲキタコトニ付。之カラ次ノ事ガ言ハレル。

C.

(6) $K(x, y)$ が対称ならハ"固有値ノ異ナル固有函数ハ直交スル。

(7) $A(x), K(x, y)$ が共=実テ" $K(x, y)$ が対称テ"アルハ"ソノ固有値ハ必ス"実テ"ナケレハ"ナラナイ。

(証明) 複素数 λ が固有値テ"アルハ"共軛数 $\bar{\lambda}$ モ亦固有値ニナリソレヲ=対スル固有函数 $f(x), \bar{f}(x)$ モ亦有=共軛テ"アル。然ルニ(6)ニヨツテ $\lambda \neq \bar{\lambda}$ テ"アルカラ $f(x), \bar{f}(x)$ トハ直交スル。之ハ矛盾テ"アル。

大体以上ノコトハ簡單ニ証明出来ル、テ"アルカ" $K(x, y)$ が"実テ"対称テ"アルトモ固有値カ"存在スルカト"ウカハ一寸証明出来ナイ。即チ $D\left[\frac{\lambda K}{\lambda A - 1}\right]$ カ" λ ノ整函数テ"ナイカラ Hilbertノ理論トハ同ニ"ヤウニハ行カナイカト思ハレル。又固有函数ヲ" $K(x, y)$ ヲ展開スルカモ簡單ニハ行カナイ様ニ"

$$\sum_n \left(\frac{1}{\lambda_n} - A(x)\right)^2 f_n^2(x) \leq \int_a^b K^2(x, y) dy$$

之ハ証明テ"キル。コノ也 Hilbertノ理論ト同ニ"様ニ理論カ"出来ルハ都合ヨイテ"アル。以上未解決ノ部分ニ対シテ解答ヲ求メタイ。

(9.9.7受取)